

新報国マテリアルの23年度計画

低熱膨張合金3D造形

初の自社生産へ

新報国マテリアル 荷を行う目標を設定。

(社長・成瀬正氏)は インバー合金3D造形

10日発表した2023 およびインバー合金の

年度経営計画で、社長 世界展開への動きを加

直属の3D推進部を設 速する。

置し、低熱膨張合金 インバー合金3D造

(インバー合金)粉末 形品については、複雑

を用いた3D積層造形 形状・軽量化をコンセ

品の自社生産に乗り出 プトに製品化を目指す

すことを明らかにし、 年内にめどをつける。

た。最先端分野におけ 現在製造を委託し

るインバー合金の輸出 ている東金属産業(静

では年内にサンプル出 岡県沼津市)との提携

を強化するほか、新報

国マテリアルとして初

の3Dプリンタ導入に

向け施策を進める。現

在の3Dワーキングゲ

ループを発展的に解消

し3D推進部を設置。

社長直属とし、意思決

定のスピードを上げ

る。3D造形で製造す

る対象を絞り、製品化

へ向け3Dプリンタの

選定を行い、三重工場

への導入を年内に決め 続けてきた。23年度は

る。比較的大きい3D さらに技術力の高さを

造形品を製造する予定 PRRし世界への販路を

で、東金属産業とはす 開拓。年内にサンプル

み分けを行う。 出荷まで実現すること

また同社はインバー を目標とする。

合金技術について19年 4月には海外の半導

から国際学会で積極的 体製造装置メーカーへ

に論文を発表、人的交 の訪問・プレゼンを行

流や関連企業との接触 うことが決定してい

など地道な営業活動を る。

